

マツダ病院は後発医薬品の使用を促進しています

後発医薬品(ジェネリック医薬品とは)

新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に製造販売される、新薬と同一の有効成分を同一量含み、効き目が同等な医薬品です。国の厳しい審査をクリアしたものだけが承認されており、安全性や品質も新薬と同等です。

当院で後発医薬品の使用を促進することのメリット

1. 低価格で医薬品費の個人負担が軽くなる
新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので低価格です。
医療の質を落とすことなく、患者さんの経済的負担も軽くなります。
2. 医療保険制度を次の世代に引き継ぐ
少子高齢化が進む中、日本の医療費は増加し続けています。
後発医薬品の使用は、個人の医療費の軽減だけでなく、日本全体の医療費の抑制につながります。現在の医療保険制度を維持し、子どもたちや次の世代に引き継いでいくことに貢献できます。

患者さんへお願い

当院は、後発医薬品使用体制加算を取得し、後発医薬品の使用促進および医薬品の安定供給に向けた取り組みを実施しています。

現在、一部の医薬品について供給が難しい状況が続いています。当院では、医薬品の供給不足等が発生した場合に、治療計画を見直すなど適切な対応ができる体制を整備しております。また、供給不足により患者さんへ投与する薬剤が変更となる際は、十分に説明を行いますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。